

利用のご案内

- 開館時間／午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)
- 休館日／月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)及び年末年始(12月29日から1月1日まで)。ただしGW中(4月29日[土]～5月5日[金])、茨城県民の日(11月13日[月])及び水戸の梅まつり期間中の企画展開催期間は無休
- 臨時休館／4月11日[火]・9月20日[水]～9月29日[金]・10月17日[火]～10月20日[金]・2月20日[火]～2月21日[水]
- 入場料 ()内は20名以上の団体料金

展覧会名	一般	満70歳以上	高大生	小中生
猪熊弦一郎展『いのくまさん』	1,000円(870円)	500円(430円)	730円(610円)	370円(240円)
士とともに 美術にみる〈農〉の世界ーミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまでー	1,100円(1,000円)	550円(500円)	870円(730円)	490円(370円)
令和5年度 茨城県芸術祭美術展覧会	800円(720円)	800円(720円)	大学生800円(720円)	高校生以下無料
画展 国吉康雄展～安眠を妨げる夢～福武コレクション・岡山県立美術館のコレクションを中心に	1,000円(870円)	500円(430円)	730円(610円)	370円(240円)
第13回現代茨城作家美術展	無料			
英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり	1,210円(1,100円)	600円(550円)	1,000円(870円)	490円(370円)
所蔵作品展	320円(240円)	160円(120円)	240円(180円)	180円(120円)

- ※企画展をご覧の方は、同日中に限り所蔵作品展が無料になります。
- ※土曜日は、高校生以下は無料です(中学生の方は、生徒証をご持参ください)。ただし、夏季・冬季及び学年末・学年始における学校の長期休業日に当たる期間は除きます。
- ※茨城県民の日(11月13日[月])はすべての方が無料です。
- ※以下の方は無料で展覧会をご覧いただけます。

- ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内所在の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び県外を含む特別支援学校の児童生徒並びに引率者、教育課程に基づく教育活動の一環として入館する県内幼稚園の幼児の引率者
- ・国際交流事業として、国外から本県内の学校等に留学している方
- ・児童福祉法の規定に基づく児童福祉施設、老人福祉法の規定に基づく老人福祉施設及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律の規定に基づく障害者支援施設に入所している方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳又は指定難病特定医療費受給者証の交付を受けている方並びに付き添いの方(1人につき付き添い1人まで)
- ・生活保護法による扶助を受けている方

- ※満70歳以上の方が無料となる高齢者無料入館日は次のとおりです。
- ・猪熊弦一郎展『いのくまさん』:6月10日(土)
- ・士とともに 美術にみる〈農〉の世界ーミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまでー:8月19日(土)
- ・所蔵作品展:9月15日(金)～18日(月・祝)
- ・英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり:3月16日(土)

県立美術館共通年間パスポート(購入日より1年間有効)

一般3,150円、高大生2,100円、小中生1,050円
茨城県近代美術館、茨城県天心記念五浦美術館、茨城県陶芸美術館の各美術館が主催する展覧会で、1年間に何回でもご利用いただけます。ただし、茨城県芸術祭美術展覧会(近代美術館)、貸しギャラリー展(つくば美術館・天心記念五浦美術館・陶芸美術館)は除きます。

友の会

【年会費】 一般3,000円、学生2,000円、ファミリー会員5,000円、特別会員(個人・法人)20,000円

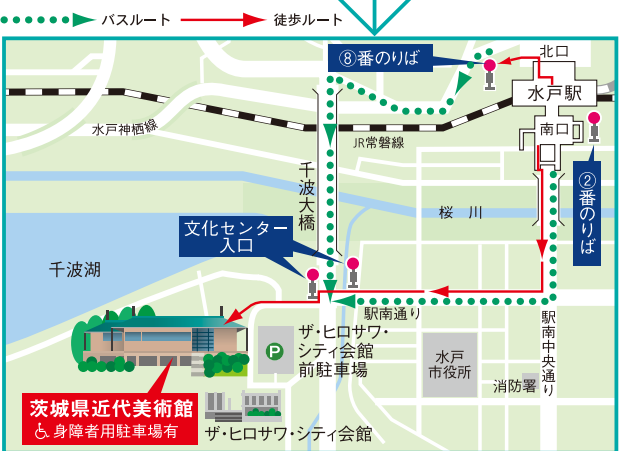
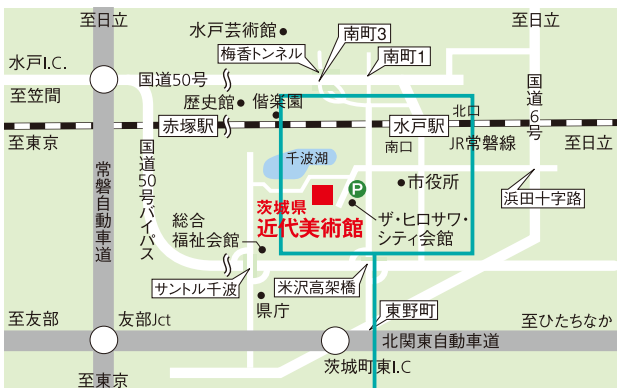
茨城県近代美術館と茨城県天心記念五浦美術館共通の会です。両館主催の展覧会はいつでも無料。各美術館の企画展やイベント、友の会独自の催し物のご案内をお送りします。その他の特典や申込方法は、友の会事務局までお問い合わせください。

交通のご案内

- 【電車・高速バスをご利用の場合】
- 水戸駅まで
- ◎電車／①東京駅からJR常磐線特急で約1時間
②宇都宮駅からJR宇都宮線・JR水戸線で約2時間
③いわき駅からJR常磐線特急で約1時間
- ◎高速バス／①東京駅八重洲南口バスターミナルから約2時間
②茨城空港から約40分
- 水戸駅から
- ◎徒歩／水戸駅南口から約20分
- ◎バス／水戸駅北口⑧番または南口②番(平日のみ)のりばから乗車約5分、「文化センター入口」にて下車
- ◎タクシー／水戸駅南口から約5分

- 【車をご利用の場合】
- 常磐自動車道／水戸ICから国道50号バイパス経由、約20分
- 北関東自動車道／茨城町東ICから約15分

- 駐車場のご利用
- 当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場P」をご利用ください。
- 駐車料金:普通車420円/マイクロバス840円/大型バス1,570円
- ※当館総合受付にて入館券をお求めの際、レシートと引換えに駐車料金をご返金いたします。



茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1
TEL:029-243-5111 FAX:029-243-9992
E-mail: info@modernart.museum.ibk.ed.jp
URL https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/



2023年3月発行

茨城県近代美術館 展覧会・イベント スケジュール 2023年4月—2024年3月

The Museum of Modern Art, Ibaraki Exhibition Information

Apr. 2023 → Mar. 2024



猪熊弦一郎展 『いのくまさん』 2023.4.15～6.25

猪熊弦一郎 「飛ぶ日のよるこび」 1993年 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団

士とともに 美術にみる〈農〉の世界ーミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまでー 2023.7.8～9.3



ジャン=フランソワ・ミレー 「刈り入れ」 1866-67年 ひろしま美術館蔵

国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～ 福武コレクション・岡山県立美術館のコレクションを中心に 2023.10.24～12.24



国吉康雄「逆さのテーブルとマスク」 1940年 福武コレクション蔵

英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり 2024.2.23～4.14



ウィリアム・フッカー 「リンゴ(デヴォンシャー・カレンデン)」 1818年 個人蔵 Photo: Michael Whiteway

施設紹介

茨城県近代美術館は、1988(昭和63)年、借楽園の眼下に広がる千波湖のほとりに開館しました。2階には企画展示室、1階には所蔵作品展示室及びアートフォーラム、地階には講堂や講座室があり、さまざまな展覧会やイベントを行っています。また、館内はバリアフリーに配慮したつくりになっているほか、ミュージアムショップやレストランもありますので、安心して楽しくご利用いただけます。 ※新型コロナウイルス感染症の影響等により、臨時休館となる場合があります。最新の情報はホームページ等でご確認ください。



イベント紹介

年間をおとして様々なイベントを実施しています。 ※新型コロナウイルス感染症等の影響により、イベントが延期・中止となる場合があります。最新の情報はホームページ等でご確認ください。

- 講演会 展覧会ごとに多彩な講師をお迎えして開催します。
- 企画展鑑賞講座 企画展の見どころを当館学芸員がご紹介します。
- ようこそ！美術の森へー学芸員と巡るコレクション 所蔵作品展を鑑賞しながら語り合う、対話型のギャラリートークです。所蔵作品展チケットをご用意ください。【実施日】毎月第3土曜日 【時間】午前11時～(約30分)
- コレクションミニガイド 展示解説員が毎日、所蔵作品展をわかりやすくご案内しています。所蔵作品展チケットをご用意ください。
- 家族でわくわくミュージアム 乳幼児・小学生を含むご家族で楽しむ、対話型の作品鑑賞会です。各所蔵作品展会期中に3回程度開催。所蔵作品展チケットをご用意ください。
- オリエンテーション 団体(20名以上)でご来館の際には、展覧会見学前に当館について簡単にご案内します。ご希望の場合は事前にご連絡ください。
- ミュージアムコンサート 講堂またはエントランスホールにて、不定期で開催しています。
- 子どものためのワークショップ 子ども向けのワークショップを年2回開催します。



4月 Apr 5月 May 6月 Jun 7月 Jul 8月 Aug 9月 Sep 10月 Oct 11月 Nov 12月 Dec 1月 Jan 2月 Feb 3月 Mar

猪熊弦一郎展『いのくまさん』
4月15日(土)→6月25日(日)



猪熊弦一郎「顔 80」1989年
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵
©公益財団法人ミモカ美術振興財団

土とともに 美術にみる〈農〉の世界
—ミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまで—
7月8日(土)→9月3日(日)



フィンセント・ファン・ゴッホ「座る農婦」
1884-85年
公益財団法人諸橋近代美術館蔵

※「土とともに 美術にみる〈農〉の世界」には当館パートナー企業
からのご支援をいただいています。

令和5年度
茨城県芸術祭美術展覧会
9月30日(土)→10月15日(日)

第13回現代茨城作家美術展
1月20日(土)→2月12日(月・祝)

英国キュー王立植物園
おいしいボタニカル・アート
食を彩る植物のものがたり
2月23日(金・祝)→4月14日(日)



おそらくインドの画家
(ジャネット・ハットン[1810年代に活躍]の作品とみなされる)
「コショウ」1810年頃 キュー王立植物園蔵
©The Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew

国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～
福武コレクション・岡山県立美術館の
コレクションを中心に
10月24日(火)→12月24日(日)



国吉康雄「安眠を妨げる夢」1948年
福武コレクション蔵

日本の近代美術と
茨城の作家たち
冬から春へ
→4月9日(日)

日本の近代美術と
茨城の作家たち
春から夏へ
4月12日(水)→6月11日(日)



下村観山
「大原之露」
1900年

日本の近代美術と茨城の作家たち 夏
(前期)6月17日(土)→7月30日(日) (後期)8月1日(火)→9月18日(月・祝)



横山大観「紫山返照」1935年
*前期のみ展示



クロード・モネ「ポール・ドモワの洞窟」1886年
*後期のみ展示

日本の近代美術と
茨城の作家たち 秋から冬へ
10月21日(土)→12月17日(日)



菱田春草「落葉」1909年

日本の近代美術と茨城の作家たち 冬から春へ
(前期)12月20日(水)→2月18日(日) (後期)2月22日(木)→4月21日(日)



小川 芋銭「河伯(親子)」1931年頃
*前期のみ展示



中村集「カルピスの包み紙のある静物」
1923年

木村武山
彩色杉戸絵
→4月9日(日)

花ものがたり
4月12日(水)→6月11日(日)



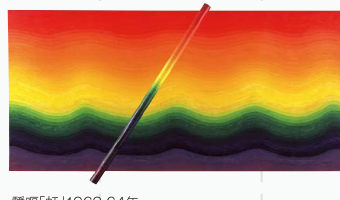
エドワード・バーネージョンス
「春の雫」
(「フラワー・ブック」1905年より)
寄託

ワカラナイノ ススメ
6月17日(土)→9月18日(月・祝)



土谷武「蝶 II-a」
1994年

色彩の響きをきく/みる
10月21日(土)→12月17日(日)



鎌倉「虹」1962-64年

よみがえる美術作品
保存と修復
12月20日(水)→2月18日(日)



河口龍夫
「関係一種子の食卓・蓮の時—」
1991年 / 2022年

木村武山 須磨御殿杉戸絵
2月22日(木)→4月21日(日)



木村武山「須磨御殿杉戸絵 秋草図・白菊図」の
うち「白菊図」1918-19年頃

企画展紹介

猪熊弦一郎展『いのくまさん』

2023年4月15日(土)～6月25日(日)
多彩な創作活動で知られる画家・猪熊弦一郎(1902-1993)。その作品の魅力をこどもたちにもわかりやすく紹介した絵本が『いのくまさん』(小学館発行)です。本文は詩人・谷川俊太郎のシンプルかつ軽妙な文章で綴られ、ページをめくるたびに猪熊作品の生命力に溢れた世界が広がります。本展はこの絵本をもとに構成した大人からこどもまで楽しめる展覧会です。

土とともに 美術にみる〈農〉の世界
—ミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまで—
7月8日(土)～9月3日(日)

近年、気候変動や武力紛争による食糧危機が身近となるなか、わたしたちの命を支える〈農〉が注目されています。本展では、近代以降の美術における、多彩な〈農〉のイメージを探ります。日本やフランスの農村風景、モデルとして見出された農婦と子、社会派の画家による農民運動、現代アートにおける多様な〈農〉のモチーフなど、厳選した約100点の作品により、美術の中の〈農〉を考察します。

令和5年度茨城県芸術祭美術展覧会
9月30日(土)～10月15日(日)

茨城県、茨城県教育委員会、茨城文化団体連合会等が主催する全県的な公募展です。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書・写真・デザイン各部門の入選作品を展示します。*書・写真部門はザ・ヒロサワ・シティ会館で展示します。

国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～
福武コレクション・岡山県立美術館のコレクションを中心に
10月24日(火)～12月24日(日)

16歳で単身アメリカに渡り、働きながら絵を学び、やがてアメリカを代表する画家のひとりとなった国吉康雄(1889-1953)。日本人移民排斥、第二次世界大戦等、国吉は日本人であることで苦しい立場におかれながらも、反戦や反ファシズムのメッセージを自らの作品に託して伝え続けました。本展は、国吉の作品や資料を世界最大規模で所蔵する福武コレクションを中心に、研究の新知見を交えながら、その多様な作品と人生を紹介します。

第13回現代茨城作家美術展
2024年1月20日(土)～2月12日(月・祝)

日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書・写真・デザインの各部門で活躍している現代の茨城を代表する作家たち100人の作品100点を展示します。県内の芸術文化の発展に寄与し、併せて新人の台頭を促すために隔年で開催しています。

英国キュー王立植物園
おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり
2月23日(金・祝)～4月14日(日)

薬草学や植物学などの科学的研究を目的として花や植物を正確かつ緻密に描いた植物画、ボタニカル・アート。英国王室ゆかりの庭園で世界屈指の研究機関でもあるキュー王立植物園の協力のもと、野菜や果物、茶やコーヒー、ハーブ、スパイスといった“おいしい”植物を描いた作品を紹介する展覧会です。ティー・セットやカトラリー、古いレシピなども展示し、食用の植物と英国の生活様式や文化芸術との関わりなどを紐解きます。

所蔵作品展紹介

日本画の横山大観、小川芋銭、洋画の中村彝、彫刻の木内克など郷土の作家を中心とした日本の近代美術と、彼らに影響を与えた西洋美術を季節やテーマによって作品を入れ替えてご紹介します。



他館インフォメーション

茨城県天心記念五浦美術館
〒319-1703 北茨城市大津町椿2083
TEL:0293-46-5311 FAX:0293-46-5711
URL <https://www.tenshin.museum.ibk.ed.jp/>

茨城県つくば美術館
〒305-0031 つくば市吾妻2-8
TEL:029-856-3711 FAX:029-856-3358
URL <https://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp/>

茨城県陶芸美術館
〒309-1611 笠間市笠間2345(笠間芸術の森公園内)
TEL:0296-70-0011 FAX:0296-70-0012
URL <https://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

茨城県天心記念五浦美術館
企画展
旅するチバラキ ～連作(水廻り)の全貌～
→4月23日(日)
※展示室A

茨城県陶芸美術館
企画展
フィンランド・ガラスアート
輝きと彩りのモダンデザイン
/ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展
3月18日(土)→6月11日(日)

再興第107回院展
茨城五浦展
6月23日(金)
→7月17日(月・祝)

未来へつなぐ陶芸
伝統工芸のチカラ展
7月8日(土)→8月27日(日)

間島秀徳展
9月13日(水)→11月26日(日)

皇室と近代の陶磁 三の丸尚蔵館名品展
9月16日(土)→12月10日(日)

天心が託した国宝の未来
一新納(にいろ)忠之介、仏像修理への道
12月9日(土)→2月12日(月・祝)
※展示室A

ガラスアート・ライジング
藤田、リトルトン、リベンスキーと世界の作家
1月2日(火)～4月7日(日)

水底に群れ、水面に集う
2月17日(土)→4月14日(日)
※展示室A